

2010年6月1日改訂

1. 本文中の見出しの区分はポイントシステムが望ましい。

例：第1章.....1
第2章第3節.....2.3
第3章第1節第2項.....3.1.2

2. 句読点はコンマ（,）およびマル（.）を用い、文中の引用文は“ ”のなかに入れる。引用文の場合以外は、原則として現代仮名づかいを用いる。

3. 数字は、引用文の場合のほかは算用数字を用いる。

4. 欧語は、タイプまたは活字体で示す。

5. 外国人名や外国地名は、よく知られているもののほかは、初出の個所にその原綴またはローマ字表記を丸がっこに入れて付記する。

6. 本文および注（引用文献等）の中の図書および雑誌名は、和漢書の場合は『 』に入れ、欧語の場合は下線を引くイタリック体にする。

7. 雑誌収載の論文記事名、図書中の章・節の表題、諸種編纂物中の文書名などは「 」に入れて示す。

8. 引用文が長いときは、行を改め、本文より2字下げで記す。

9. 西暦年以外の年記を使用するときは、西暦年をかっこに入れて添える。

例：昭和20年（1945）

10. 本文中で、他の文献から引用するため、あるいは出典を示すために注を付す場合は、当該個所の末尾の右肩に半かっこに入れた注番号を番号順に記載する。

ただし当該箇所の末尾に句読点がある場合には、句読点の前の文字の右肩に注番号を記載する。

[例]

図書館ではコレクションの特色を活用した展示を行っている¹⁾。これらの展示の内容の一覧は、年次報告書²⁾に記載されている。

11. 引用文献等の注は注番号の番号順に原稿末尾にまとめて記載する。その際、文献の記載は以下の例を標準とする。参考文献の特定の個所を引用、参照する

場合は、引用、参照個所のページを記載する。

[雑誌論文（和）からの引用]

a. 中川真紀, 大原寿人「オンラインジャーナルの利用と問題」『情報の科学と技術』Vol.47, No.2, 1997.2, p.83.

なお、次の記載方法も使用することができる。この方法は、図書、論文集中の論文等にも使用することができる。

中川真紀, 大原寿人「オンラインジャーナルの利用と問題」『情報の科学と技術』Vol.47, No.2, 1997.2, p.81-85.引用は p.83.

同じ文献を繰り返し引用する場合は、次の記載方法を使用することができる。

注3の文献, 引用は p.83.

前掲3), p.83.

b. 渡辺重夫「国民の権利としての図書館利用」『図書館学会年報』Vol.30, No.2, June 1984, p.55.

c. 小倉親雄「図書館学とビブリオテクノロジー」『京都大学教育学部紀要』22号, 1976, p.22-23.

[雑誌論文（欧）の参照]

d. Harris, Michael H. "The dialectic of defeat: anti-monies in research in library and information science," *Library Trends*. Vol. 34, No.3, 1986, p.515-531.

[図書（和・翻訳書）の参照]

e. 永末十四雄『日本公共図書館の形成』日本図書館協会, 1984, 352p.

f. Karstedt, Peter『図書館社会学』[*Studien zur Soziologie der Bibliothek*] 加藤一英, 河井弘志訳, 日本図書館協会, 1980, 260p.

[図書（欧）からの引用]

g. Newhouse, Joseph P. and Arthur J. Alexander. *An Economic Analysis of Public Library Services*. Lexington, D.C. Heath Co., 1972, p.120.

[論文集中の論文や図書中の章からの引用]

- h. 山田常雄「見出し語の選定と配列」『索引作成マニュアル』日本索引家協会編, 日外アソシエーツ, 1983, p.37.
- i. Cole, John Y.“Storehouses and workshops: American libraries and the uses of knowledge,” *The Organization of Knowledge in Modern America 1860-1920*. Alexandra Oleson and John Voss, eds. Baltimore, Johns Hopkins University Press, 1979, p.366.
- [ウェブ資料の参照]
- j. Harnad, Stevan and Tim Brody. “Comparing the impact of Open Access (OA) vs. non-OA articles in the same journals, ” *D-Lib Magazine*. Vol.10, No.6, 2004. <http://www.dlib.org/dlib/june04/harnad/06harnad.html>, (参照 2004-09-26).
- k. Wellcome Trust. *Economic Analysis of Scientific Research Publishing*. London, Wellcome Trust, 2003, 33p. <http://www.wellcome.ac.uk/assets/wtd003182.pdf>, (accessed 2004-10-23).
1. E-LIS: E-prints in Library and Information Science. <http://eprints.rclis.org/>, (参照 2004-09-26).
12. 図表は別紙に準備し, 挿入個所を本文中に朱色で指定する。
13. 研究の補助金, 指導, 助言等に対する謝辞は本文の最後に記載する。
-
-